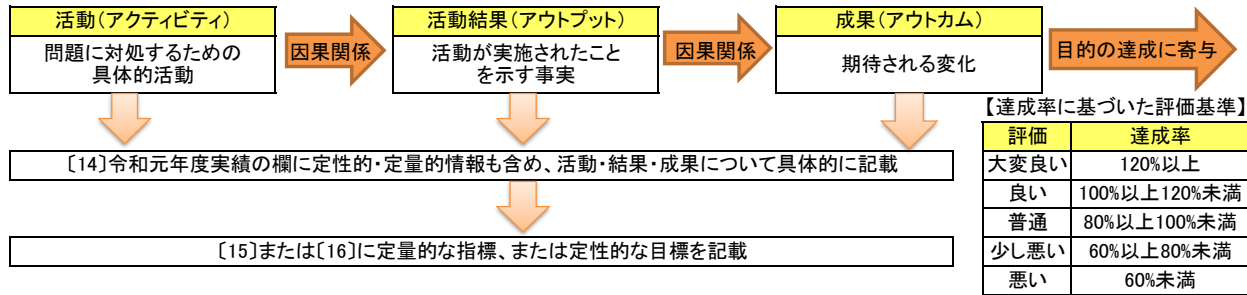


令和2年度 事務事業総点検シート(2)

| | | | |
|-------|----------------|-------|---------|
| 事務事業名 | 海洋プラスチック対策推進事業 | シート番号 | 010-052 |
|-------|----------------|-------|---------|

≪IV. 評価(測定・分析)≫

ロジックモデルの考え方



事業の活動実績や成果

| 令和元年度実績 | | | | | | | | |
|-------------|-------------|---|---|--------|--------|-------|-------|----|
| 活動実績と成果 | 14 | | | | | | | |
| | 15 | 指標名【成果指標】 | 単位 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | |
| | | レジ袋辞退率 | % | 目標値 | | | | 60 |
| | | | | 実績値 | | | | |
| | | | | 達成率 | | | | |
| | 評価 | | | | | | | |
| | 算出方法・設定根拠など | | 令和元年度実績: 40% (「堺市域における使い捨てプラスチック削減に関する協定」締結事業者におけるレジ袋辞退率の平均値)、国のレジ袋辞退率目標(令和2年): 60% | | | | | |
| | 16 | 指標名【成果指標】 | 単位 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | |
| | | マイボトル携帯率 | % | 目標値 | | | | 37 |
| | | | | 実績値 | | | | |
| 達成率 | | | | | | | | |
| 評価 | | | | | | | | |
| 算出方法・設定根拠など | | おおさかマイボトルパートナーズ2025年目標: 80% (2019年12月時点: 28%) | | | | | | |

事業の効率性

| | | 区分 | 単位 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|----|----------------|----------------------|------|--------|--------|-------|
| 17 | ① | | | | | |
| | ② | 上記①にかかる年間経費 | 千円 | | | |
| | ③ | 単位当たり経費 (②÷①×1,000円) | 円/単位 | | | |
| | 備考(算出についての説明等) | | | | | |
| | | 区分 | 単位 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
| 18 | ① | | | | | |
| | ② | 上記①にかかる年間経費 | 千円 | | | |
| | ③ | 単位当たり経費 (②÷①×1,000円) | 円/単位 | | | |
| | 備考(算出についての説明等) | | | | | |

業績の分析

| | |
|----|--|
| 19 | 目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析) |
| | |

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありませんでしたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

| | | | |
|-------|----------------|-------|---------|
| 事務事業名 | 海洋プラスチック対策推進事業 | シート番号 | 010-052 |
|-------|----------------|-------|---------|

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。 ⇒ 確認

| | | | | | |
|--------------------------|-------------------------------------|--|--|---|--|
| コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性） | 20 | 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。 | 事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない | 廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 海洋プラスチック対策が実施されず、海洋環境の悪化やマイクロプラスチックによる化学物質汚染等が発生した場合、市民の健康や生活環境等に大きな影響を及ぼすことから、廃止できない。 | |
| | 21 | (20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。 | 事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない | 休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 必要のない使い捨てプラスチックの使用の増加により、プラスチックごみの増加につながる可能性があることから、休止できない。 | 休止の場合の再開時期 <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降 |
| | 22 | (20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。 | コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 縮減できない | 縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 新型コロナウイルス感染症の状況により、令和2年度については、リユース食器導入イベントが限定され、リユース食器の導入費用を削減できる可能性がある。 | |
| | 23 | (20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。 | 事業手法の適切性 <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている | 改善する場合は改善策、その他は理由 海洋プラスチック対策に係るイベント等を実施する際、新型コロナウイルス感染症対策をとる必要がある。 | |
| | 24 | (20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。 | 効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は■、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は□) ① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input checked="" type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input checked="" type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他() | 理由・説明 | 使い捨てプラスチック削減に関する技術やアイデアを有する民間事業者等と連携しながら、効果的・効率的な取組を検討・実施していく。 また、関西広域連合のプラスチック対策検討会や、大阪府が事務局を担うおおさかマイボトルパートナーズに参画するなど、周辺都市と連携しながら取組を進めている。 |
| 25 | これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。 | 事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大 | 実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降 | | |
| | | 所見 | G20大阪サミットで共有された「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」の達成に向けては、今後、更なる取組を推進していく必要があるが、公民連携や国・府等との適切な役割分担等を図ることにより、事業費の抑制に努める。 | | |